患者氏名　@PATIENTNAME　様

＜病状説明＞ あなたの病名は 『　　頸動脈狭窄症　　』です。 頸動脈ステント留置術　を行います。 入院期間は1～2週間です。		退院基準:検査後に新たな神経症状がない(意識・言語・脳神経・運動感覚障害) 穿刺部に皮下出血がない。造影剤によるアレルギーや腎障害がない。			特記事項：		
	外来	入院当日・治療前日（　/　）	治療当日（　　/　　）（前）	治療当日（後）	治療1日目（　/　）	治療2日目（　/　）	治療3日目～退院日（　/　）
検査・治療・処置	●血液検査があります ●胸部レントゲン撮影があります ●心電図検査があります ●尿検査があります	●剃毛(両足の付け根 の部分の毛を剃ります) ●両足の甲の動脈の部分にマジックで印を付けます ●左手にリストバンドを装着します ●左手に点滴の管を留置します	●膀胱内に尿を出すための管を留置します ●治療着に着替え、歩いて脳血管造影室にむかいます ●体温、脈拍、血圧を測定します	●体温、脈拍、血圧を測定します ●穿刺部位の観察を行います ●検査数時間後に穿刺部位の確認を行います ●状態に応じて頭の検査（CTかMRI）があります	●体温、脈拍、血圧を測定します ●穿刺部位の観察を行います ●採血があります。 ●頭の検査（CTかMRI）があります	●体温・脈拍・血圧を測定します ●穿刺部位の観察を行います	●体温・脈拍・血圧を測定します ●穿刺部位の観察を行います
薬剤	●普段服用されている薬がありましたらお知らせ下さい	●普段服用されている薬がありましたらお知らせ下さい、一度看護師が薬を預からせていただきます ●翌日の朝に飲んで頂く薬をお知らせします(薬は検査後までは看護師が管理させていただきます) ●翌日中止する薬が □あります(　　) □ありません	●治療前より点滴を行います ●看護師が朝飲んで頂く薬をお渡しします	●治療後も点滴を継続します ●痛みがある場合は痛みどめ、熱がある場合は解熱剤を使うことがあります ●中止薬がなければ持参薬を再開させていただきます	●治療後も点滴を継続します	●治療後も点滴を継続します（採血結果や食事、水分の摂取状況と血圧が安定していれば終了となります）	●中止の薬がなければ今まで通りの薬を服用してください。
安静度・リハビリテーション	●普段通りの生活が出来ます			●検査後は3～数時間はベッド上安静です ●医師の診察が終るまでは穿刺側の足を曲げないで下さい ●主治医の診察後に血圧の状態を見て病棟内のみ歩行制限がありません。血圧が低ければベッド上安静になることがあります	●穿刺部や血圧の異常がなければ歩行可能です。		
排泄	●制限はありません			●検査後数時間は床上排泄になります	●尿の管が入っている場合は状態を見て抜去します		
清潔	●シャワー浴できます	●除毛後はシャワー浴をしていただきます	●シャワー浴はできません		●看護師が清拭などを行います	●主治医の許可が出ればシャワー浴が可能となります	
食事・栄養管理		●食事は、夕食まで食べられます。病状に応じた食事を食べて頂きます	●検査３時間前から食事をとる事はできません （　　時　　分） ●検査１時間前から水分をとる事はできません （　　時　　分）	●検査１時間後むかつきが無ければ水分、食事をとることができます ●水分、食事の開始許可がでたらお知らせします ●造影剤を排泄させる為に水分を多めに摂って下さい			●今回の検査後に食事制限が必要となった際はお知らせします。基本的には、検査前と同様に食事をしていただけます
説明指導教育		●病棟内や検査のオリエンテーションがあります ●カテーテル用パンツを購入してください。(院内ローソンで売ってます)	●時計・眼鏡・義歯・マニキュア・ヘアピンなどはお取りください ●検査当日は化粧をしないでください				●穿刺部に問題がないことを確認し退院となります ●次回外来の予約票を渡します ●穿刺部の痛みや腫れ、内出血などが増強することがあればすぐに外来受診して下さい